

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-----------------------------------|--|--|------------|------------|------|-------|--|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 1 | 庁舎総合窓口安全確保事業 | 感染症拡大防止のため、役場総合窓口に来客対応用のパーテーションを設置する。 | 感染防止用パーテーション 28,600円×3枚×税=94,380円 | 94,380 | 94,380 | R2.4 | R2.5 | 役場総合窓口パーテーションを設置したことにより、職員や来庁した町民のウイルス感染リスクが軽減された。 | 町民課 |
| 2 | 子育て世代応援給付金事業 | 休校や部活動、スポーツ少年団の活動自粛などの影響による子どものストレス対応、学習のためのドリル購入など負担の増えている子育て世代を応援するため、0歳以上18歳以下の子どもの保護者に1人あたり1万円を給付する。 | 消耗品費 4,192円 通信運搬費 100,000円 振込手数料 60,390円 委託料 462,000円 扶助費 10,000円×1,161人=11,610,000円 | 12,236,582 | 12,236,582 | R2.5 | R3.3 | 18歳以下の子どもの居る家庭すべてに給付金を支給したことで、新型コロナの影響で負担が増えている子育て世代の家計を支える一助となった。 | 福祉保健課 |
| 3 | 公共施設等の管理維持体制持続化事業 | 県保健所の要請により、外出自粛期間中に町の高齢者福祉施設内歩行浴プールの水質検査等を行い、利用再開に備える。 | 水質検査及び清掃委託料 40,800円×税=44,880円 | 44,880 | 44,880 | R2.5 | R2.6 | 休業期間を利用し高齢者福祉施設内の歩行浴プールの水質検査や清掃を行うことで、利用再開時の感染症拡大防止を図ることができた。 | 福祉保健課 |
| 4 | 綾町新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給補助金事業 | 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業の経営安定化を図るため、宮崎県中小企業融資制度の新型コロナウイルス感染症緊急対策貸し付けを利用した事業者に対し、利子補給を行う。 | 利子補給金 551,828円(5事業者) | 551,828 | 551,828 | R2.5 | R3.3 | 宮崎県中小企業融資制度の新型コロナウイルス感染症緊急対策貸し付けを利用した事業所に対し町が利子補給を行うことで、町内事業所の経営維持の一助となった。 | 総合政策課 |
| 5 | 綾町新型コロナウイルス感染症緊急対策飲食店事業継続激励給付金事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、店内に飲食スペースを有している飲食店へ一律100,000円を支給することで事業継続を図る。町内飲食店及び町民が町外で営業する飲食店を対象とする。 | 激励給付金 100,000円×45店=4,500,000円 | 4,500,000 | 4,500,000 | R2.5 | R2.7 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所へ持続化給付金を支給することにより、支給対象となったすべての事業所の経営維持を支えることができた。 | 総合政策課 |
| 6 | 綾町新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 飲食店応援商品券配布事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店を支援するため、町内約50店舗の飲食店で利用できる商品券(町民ひとり当たり2,000円)を全町民に配布する。 | 商品券印刷代 162,800円 郵送費 620,685円 商品券換金 500円/枚×26,960枚=13,480,000円 | 14,263,485 | 14,263,485 | R2.5 | R2.12 | 本事業によりコロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ個人消費を促すことができ、町内の消費活動の活性化および町内事業所の経営継続につながった。 | 総合政策課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|--|---|---|------------|------------|------|------|--|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 7 | 綾町新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 町内事業所事業継続 激励給付金事業 | 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業、小規模事業者への支援として、前年同月比に比べ売上が20%以上減少した事業所に対して一律100,000円を給付する。 | 激励給付金 100,000円×14事業所=1,400,000円 | 1,400,000 | 1,400,000 | R2.5 | R3.2 | コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所に対して持続化給付金を支給することで、対象となった事業所の経営を支え、結果としてすべての事業所が経営を継続することができた。 | 総合政策課 |
| 8 | 公共施設等の管理維持体制持続化事業 | 公共の宿再開にあたって、大浴場利用者の安全を確保するため、給湯循環設備の清掃を行う。 | 清掃委託料 495,000円×税=544,500円(2施設) | 544,500 | 544,500 | R2.5 | R2.6 | 休業期間を活用し公共施設の大浴場の給湯循環設備を清掃することで、利用再開時の感染症拡大防止を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 9 | 綾町新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 プレミアム付商品券発行事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内商店街の活性化を目的に、プレミアム商品券を発行し、地域経済の活性化を図る。 | 第1次分 16,782,846円(始期:令和2年9月) 事務委託料 2,990,000円(全額県負担) 商品券発行額 10,000円×4,600組×プレミアム30%=13,800,000円 換金額(換金率:99.948%) 13,800,000円×99.948%≒13,792,846円 (県負担2/3、町負担1/3) 第2次分 16,748,423円(始期:令和2年10月) 事務委託料 3,000,000円(県負担1/2、町負担1/2) 商品券発行額 10,000円×4,600組×プレミアム30%=13,800,000円 換金額(換金率:99.626%) 13,800,000円×99.626%≒13,748,423円 (県負担1/2、町負担1/2) | 33,531,269 | 12,971,828 | R2.8 | R3.3 | 本事業によりコロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ個人消費を促すことができ、町内消費活動の活性化および町内事業所の経営継続につながった。 | 総合政策課 |
| 10 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策総合窓口感染予防事業 | 役場総合窓口の感染対策のため、パーティションの設置と町関連施設の衛生環境の整備を行う。 | 消耗品一式 872,414円 (アクリルパーティション6台、消毒薬設置台20台、パーティション、フェイスシールド、マウスシールド) | 872,414 | 872,414 | R2.6 | R3.1 | 役場総合窓口や関連施設の衛生環境の整備を行ったことで、職員や来訪した町民の感染拡大防止を図ることができた。 | 財政課 |
| 11 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策物品供給事業 | 町内の妊婦や子ども、社会福祉施設等に対して、マスクや消毒液等を無償で配布する。 | 消耗品一式 1,472,264円 (消毒液、アルコール、大人用マスク1,200箱、子ども用マスク240箱) | 1,472,264 | 1,472,264 | R2.6 | R3.3 | 入手困難となり価格が高騰しているマスクや消毒液を無償配布することで、感染症拡大防止と家計支援の両方向から町民を支えることができた。 | 総務課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-------------------------------|---|--|-----------|-----------|-------|-------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 12 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策防災活動支援事業 | 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害避難所の備蓄品を購入し、それに伴い備蓄品を収納する備蓄倉庫を新たに整備する。 | 消耗品一式 2,046,032円 (体温計62個、簡易ベッド60台、避難者用床マット90枚、マスク66,000枚、消毒用資材、感染防止対策資材) 備品購入費 638,000円(空気清浄機10台) 備蓄倉庫建屋建築 本工事費 5,343,800円(電気・棚・外構含む) 設計監理委託料 499,840円 建築確認手数料 37,000円 | 8,564,672 | 8,564,672 | R2.6 | R3.3 | 避難所にて使用する体温計や簡易ベッド、空気清浄機などの衛生用品を整備することで、災害等の有事における感染症対策が可能となった。また、備蓄倉庫を増設したことで備蓄品のより多くの保持が可能となった。 | 総務課 |
| 13 | 庁舎管理費 | 役場庁舎及び町関連施設における感染防止対策のため、消毒液等を購入する。 | 消毒液購入費 1,980円×80本×税=174,240円 1,900円×87本×税=181,830円 | 356,070 | 356,070 | R2.4 | R2.7 | 感染症拡大防止対策として重要である手指消毒液を購入・配備することで町職員および庁舎を訪れた町民の感染症拡大防止を図ることができた。 | 財政課 |
| 14 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策遠隔会議事業 | 感染症拡大防止のため、役場庁舎におけるWeb会議環境を整備し感染リスクの軽減を図る。 | Webカメラ等機器購入費 19,488円 回線使用料(9か月分) 58,743円 | 78,231 | 78,231 | R2.5 | R3.3 | WEB会議を行う環境の整備をしたことにより、WEB会議や研修等のリモート業務が増加し、庁舎外で行う業務が減少した。これにより、出張等に伴う感染症感染リスクが軽減された。 | 総務課 |
| 15 | 新型コロナウイルス感染症対策福祉避難所確立事業 | 感染症予防の観点から、福祉避難所の資材の備蓄を行う。 | 消耗品一式 213,334円 (ダンボールベッド10個、災害備蓄用マット10枚・毛布16枚、空気循環用扇風機3台) 備品購入費 809,717円 (収納物置1台、パーテーション10張、遠隔面会用タブレット 2台) | 1,023,051 | 1,023,051 | R2.8 | R3.1 | 福祉避難所にて使用する寝具や面会用タブレット、扇風機等を整備し、もし感染者が発生してしまった場合も感染拡大を防ぐよう対策を講じることができた。 | 福祉保健課 |
| 16 | 新型コロナウイルス感染症対策被災者情報管理システム導入事業 | 新しい生活様式への対応として、被災者台帳の整備及びその前提となる被災状況管理や要配慮者状況把握のシステムを導入する。 | システム導入委託料 3,500,000円×1式×税=3,850,000円 | 3,850,000 | 3,850,000 | R2.10 | R3.3 | 災害に備え被災状況管理や要配慮者状況把握などをシステム化し被災者台帳の整備をすることで、被災時の接触機会を減らし、新しい生活様式に対応することができた。 | 福祉保健課 |
| 17 | 児童運営費(保育所) | 新型コロナウイルス感染症対策として保育所等の登園を自粛した世帯の保育料減免システムの改修を行う。 | システム改修委託料 350,000円×1式×税=385,000円 | 385,000 | 385,000 | R2.10 | R2.11 | 保育料減免にかかるシステムを導入したことで、感染症の影響により登園を自粛した世帯の保育料を減免し、家庭の負担を減らすことができた。 | 福祉保健課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|------------------------------------|--|---|------------|------------|-------|-------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 18 | 新型コロナウイルス感染症対策児童施設整備事業 | 感染症防止・熱中症対策の観点から、エアコンの設置されていない町立保育所に空調機の新設、児童館に扇風機を取り付ける。 | 工事請負費 1,950,000円×一式×税=2,145,000円 (空調機1台・シーリングファン3台、扇風機8台) | 2,145,000 | 2,145,000 | R2.10 | R2.12 | 町立保育所や児童館に空調を整備し、感染症拡大防止ならびに熱中症予防につながった。 | 福祉保健課 |
| 19 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策健康増進事業 | マスク・消毒液等の消耗品やパーテーション等、感染症予防のための資材を町健康センターに備蓄する。 | 消耗品一式 2,425,218円 (空気循環用扇風機3台、マスク200箱、消毒用資材、感染防止対策資材) 備品購入費 75,000円×3台×税=247,500円 | 2,702,418 | 2,702,418 | R2.10 | R3.3 | 健康センターで様々な消耗品や備品等を購入・備蓄することで、健康センターを利用する町民の感染症拡大防止につながった。 | 福祉保健課 |
| 20 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策再生産支援事業(畜産業・原料用甘藷) | 新型コロナウイルス感染症拡大による外食産業の低迷により打撃を受けた肉用牛と養鶏、焼酎原料用甘藷について町独自に支援を行う。 | 肉用牛子牛価格減少 農家出荷実績 239頭×50,000円=11,950,000円 J A出荷実績 16頭×25,000円= 400,000円 肉用牛肥育価格減少 農家出荷実績 63頭×80,000円= 5,040,000円 肉用牛出荷運搬費用助成 九州外 207頭×6,000円×1/3= 414,000円 九州内 166頭×3,000円×1/3= 166,000円 みやざき地頭鶏 623羽×1,800円×1/2=560,000円 焼酎原料用甘藷 696.5a×220円=153,230円 | 18,683,230 | 18,683,230 | R2.10 | R3.3 | コロナ禍により打撃を受けた肉用牛・養鶏・焼酎原料用甘藷の生産者に対して町独自に支援を行ったことで、生産者の生活を支え、事業継続の一助となった。 | 農林振興課 |
| 21 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策再生産支援事業(水産業) | 新型コロナウイルス感染症拡大により養殖魚の出荷ができず、飼育期間を延長した餌代の一部を支援する。(宮崎県養殖経営緊急支援事業に町が1/4上乘せ) | 支援金 120,000匹×50日×0.3×1/2=900,000円 (県補助、町補助各1/2) | 900,000 | 450,000 | R2.10 | R3.3 | コロナ禍により打撃を受けた養殖魚の生産者に対して町独自に支援を行ったことで、生産者の生活を支え、事業継続の一助となった。 | 農林振興課 |
| 22 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策有機農業開発センター施設整備事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町の施設である有機農業開発センタートイレの手洗と男子トイレを自動洗浄に改修する。 | 工事請負費 710,000円×一式×税=781,000円 (手洗自動水栓4箇所、男子小便器自動洗浄4箇所) | 781,000 | 781,000 | R2.10 | R3.1 | 公共施設のトイレにセンサー付き自動水栓装置や自動洗浄設備を整備することで接触機会を減らし、感染症拡大防止を図ることができた。 | 農林振興課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|--------------------------------|---|--|-----------|-----------|-------|-------|--|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 23 | 新型コロナウイルス感染予防対策 賦課徴収事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、確定申告用納税証明書取得で役場に来庁する必要がないように、確定申告用証明書を全戸配布し感染予防対策を図る。 | 郵送料 99,751円 納付証明作成委託 356,990円×税=392,689円 | 492,440 | 492,440 | R2.10 | R3.3 | 確定申告用証明書を全戸配布することで町民と職員との接触機会を軽減し、感染症拡大防止を図ることができた。 | 町民課 |
| 24 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策 庁舎施設整備事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、役場庁舎内トイレ手洗水栓と男子小便器を自動洗浄に改修する。 | 工事請負費 1,882,597円 (手洗自動水栓14箇所、男子小便器自動洗浄7箇所) | 1,882,597 | 1,882,597 | R2.10 | R3.1 | 公共施設のトイレにセンサー付き自動水栓装置や自動洗浄設備を整備することで接触機会を減らし、感染症拡大防止を図ることができた。 | 財政課 |
| 25 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策 災害避難所支援事業 | 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、災害避難所のパーテーションを台風襲来等に備えて整備する。 | 消耗品(ワンタッチパーテーション) 3,525,000円×税=3,877,500円 | 3,877,500 | 3,877,500 | R2.8 | R2.12 | 台風襲来に備え、避難所にパーテーションを整備したことで、避難所での感染症拡大防止を図ることができた。 | 総務課 |
| 26 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策 失業者支援給付事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、失業した町民を対象に生活支援金として給付金を支給する。 | 失業者支援給付金 18名×100,000円=1,800,000円 | 1,800,000 | 1,800,000 | R2.8 | R3.2 | 感染症の影響により失業した町民へ独自の給付金を支給することで、失業者の生活のサポートを強化することができた。 | 総合政策課 |
| 27 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策 休業要請等支援金事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大により休業要請した飲食店等に協力金を支給し、事業継続を支援する。宮崎県感染症対策休業要請等協力金を含む。 | 休業要請支援金 接待を伴う飲食店 3店舗×200,000円= 600,000円 時短営業の飲食店 9店舗×100,000円= 900,000円 休業する飲食店 10店舗×200,000円=2,000,000円 対象外店舗で休業する店舗 13店舗×200,000円=2,600,000円 タクシー事業者への支援金 1事業者×100,000円= 100,000円 | 6,200,000 | 4,175,000 | R2.8 | R3.3 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所へと持続化給付金を支給することにより、支給対象となったすべての事業所の経営維持を支えることができた。 | 総合政策課 |
| 28 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策 事業継続補助金 | 新型コロナウイルス感染症拡大による県のガイドラインに沿った感染防止のための改修リニューアルを実施する際に、改修費用の一部を補助する。 | 事業継続補助金 661,000円(14事業所) | 661,000 | 661,000 | R2.10 | R3.3 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための改修費用を補助することで、町内事業者の負担を軽減しつつ町内各所における感染防止を図ることができた。 | 総合政策課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-------------------------------|---|--|------------|----------------|-------|-------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 29 | 新たなイベント支援事業 | 新型コロナウイルス感染症からの地域経済復興を図る民間イベントを支援する。支援金は事業費の1/2以内、上限100,000円。 | 支援金 36,000円 (1団体) | 36,000 | 36,000 | R2.10 | R2.12 | 地域経済の復興を図る民間イベントにかかる費用を支援することで、イベントの開催を促し、地域経済の復興を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 30 | スポーツ等合宿受入支援事業 | 新型コロナウイルス感染拡大によりスポーツ合宿を中止した団体等に対し、町の特産品を贈呈し、再度綾町でスポーツ合宿を行っていただき地域の活性化を図る。 | 補助金 1,308,356円 (職業球団キャンプ受入協力会) | 1,308,356 | 1,308,356 | R2.10 | R3.3 | 感染症によりスポーツ合宿を自粛した団体等へ特産品の贈呈などを行うことで団体等と町との関係をつなぎ止め、来年度以降の地域振興にも繋げることができた。 | 総合政策課 |
| 31 | 新型コロナウイルス感染症対策公共施設整備事業 | 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、町有の観光施設(8箇所)のトイレの手洗自動水栓と照明センサー化を行う。 | 工事請負費 7,580,000円×一式×税=8,338,000円 (町内観光施設8か所) | 8,338,000 | (R3) 8,338,000 | R2.10 | R3.7 | 公共施設のトイレにセンサー付き自動水栓装置や証明センサーを整備することで接触機会を減らし、感染症拡大防止を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 32 | 工芸まつり新型コロナウイルス感染症防止対策事業 | 工芸まつり開催に伴い、消毒液等の消耗品や屋外テントリースなどを工芸コミュニティ協議会へ補助し、新型コロナウイルス感染症防止を図る。 | 補助金 822,106円 (綾町工芸コミュニティ協議会) | 822,106 | 822,106 | R2.10 | R3.1 | 感染症対策に関する備品を整備し工芸まつりの開催を支援することで、感染症拡大防止対策を行いながらイベントを開催し、地域活性化を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 33 | 活性化協会施設管理 | 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休業により影響を受けた町内の指定管理施設の維持管理費用の一部を支援金として支出し、事業継続を図る。 | 補助金 27,900,000円 (綾町産業活性化協会) | 27,900,000 | 27,900,000 | R2.10 | R3.3 | 休業による打撃を受けた町内指定管理施設に支援金を支給したことで、施設の維持や事業継続を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 34 | 新型コロナウイルス感染症対策アフターコロナ施設利用促進事業 | アフターコロナを見据え、町内体育施設や文化教育施設のパンフレットを営業用として刷新し、体育施設や文化ホールの利用を促進する。 | パンフレット作成委託費 400円×1,000冊×税=440,000円 | 440,000 | 440,000 | R2.10 | R3.1 | 町内体育施設や文化教育施設のパンフレットを刷新したことで、アフターコロナの利用促進を図ることができた。 | 社会教育課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|--|---|---|------------|------------|-------|-------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 35 | 新型コロナウイルス感染症対策体温検知センサー機器整備事業 | 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、町立図書館、てるはドームへの入場者の体温検知を行う。 | 備品購入費 (非接触サーモグラフィー2台) 町立図書館 660,000円×1台×税=726,000円 てるはドーム 642,000円×1台×税=706,200円 | 1,432,200 | 1,432,200 | R2.10 | R2.12 | 日々多くの方が利用する町立図書館や、てるはドームに非接触サーモグラフィーによる体温検知システムを導入したことで、スムーズな検温体制が整えられ、感染症拡大防止につながった。 | 社会教育課 |
| 36 | 新型コロナウイルス感染症対策非接触型設備整備事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、町公民館施設のトイレの手洗自動水栓、照明センサー化を行う。 | 工事請負費 740,000円×一式×税=814,000円 (手洗自動水栓10台、照明自動センサー4か所) | 814,000 | 814,000 | R2.10 | R2.12 | 町公民館施設のトイレにセンサー付き自動水栓装置や証明センサーを整備することで接触機会を減らし、感染症拡大防止を図ることができた。 | 社会教育課 |
| 37 | 新型コロナウイルス感染症対策避難所運営資材倉庫改修事業 | 災害時避難所である町公民館にマスク等保管備蓄スペースを確保するため、改修工事を行う。 | 備蓄倉庫 設計委託 360,000円×一式×税= 396,000円 改修工事 2,900,000円×一式×税=3,190,000円 備品購入費 405,200円×税=445,720円 (物品棚等) | 4,031,720 | 4,031,720 | R2.10 | R3.3 | 災害避難所の備蓄スペースを増築することで、感染症により新たに備蓄が必要になった物品の収納が行えるようになり、災害時における感染症拡大防止のための備品を充実させることができた。 | 社会教育課 |
| 38 | 学校保健特別対策事業費補助金 (感染症対策のためのマスク等購入支援事業) | 新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波における慢性的なマスク不足を想定し、町立小・中学校における集団感染のリスクを避けるためのマスクを備蓄する。 | 消耗品費 子供用マスク 980円×10個×税= 10,780円 大人用マスク 800円×241個×税=212,080円 | 222,860 | 111,000 | R2.10 | R3.3 | 入手困難となっているマスクを学校で備蓄し生徒全員に装着させることにより、飛沫による感染症拡大防止を図ることができた。 | 教育総務課 |
| 39 | 学校保健特別対策事業費補助金 (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、町立小・中学校におけるサーキュレーター設置、消毒液等の備蓄を行う。 | 消耗品一式 2,500,000円 (消毒液100缶、体温計50個、使い捨て手袋140箱、サーキュレーター30台、大型扇風機10台) | 2,500,000 | 1,250,000 | R2.10 | R3.3 | 町内小・中学校におけるサーキュレーターの設置や消毒液、体温計などの備蓄を行うことで、小・中学校における感染症拡大防止を図ることができた。 | 教育総務課 |
| 40 | 綾小・中学校情報機器購入事業 (GIGAスクール) | 国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台パソコン端末を整備する。 | 備品購入費 34,740,000円 (小学校PC422台、中学校PC165台等) | 34,740,000 | 34,740,000 | R2.9 | R3.3 | GIGAスクール構想に基づき生徒1人1台の端末整備を行い、教育現場におけるデジタル環境の整備が進められ、感染症拡大防止のためのリモート授業などを推進することができた。 | 教育総務課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-------------------------|--|---|------------|----------------------------------|-------|------|--|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 41 | 公立学校情報機器整備費補助金 | 臨時休業等の緊急時に学校と家庭との通信を円滑にするため、カメラやマイクなどの整備を行う。 | 備品購入費 70,000円 (WEBカメラ2台、マイク・スピーカーフォン2台) | 70,000 | 35,000 | R2.10 | R3.3 | リモート授業に必要となる情報機器を整備しリモート授業を実施する環境が整ったことで、生徒が自宅で授業を受けることが可能になり、感染症拡大の防止につながった。 | 教育総務課 |
| 42 | 家庭学習のための通信機器整備支援事業 | w i - f i 環境が整っていない家庭に対しモバイルルーターの貸与を行う。 | 備品購入費 896,280円 (モバイルルーター80台及び周辺機器) | 896,280 | 96,280 | R2.10 | R3.3 | w i - f i 環境のない家庭に対しw i - f i ルーターを貸し出すことで、生徒全員が感染症対策を行いながら授業を受けられるようになった。 | 教育総務課 |
| 43 | 教育総務費(GIGAスクール) | 国が進めるG I G Aスクール構想早期実現のため、小・中学校校務(教師)用パソコン、タブレット及び周辺機器を整備する。 | 備品購入費 25,071,860円 (教師用PC54台、教師用タブレット10台、サーバー、プリンター、ネットワーク機器、ソフトウェア及び周辺機器一式) | 25,071,860 | 25,071,860 | R2.9 | R3.3 | 教師用の端末や周辺機器を整備したことで、G I G Aスクール構想の実現を推進し、遠隔授業等による感染症拡大防止を図ることができるようになった。 | 教育総務課 |
| 44 | 小学校管理総務費 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、小学校の教室に網戸の設置とトイレ手洗の自動水栓、照明・換気扇のセンサー化を行う。 | 工事請負費 網戸設置(27カ所) 235,000円×一式×税= 258,500円 トイレ手洗の自動水栓(18カ所) 1,050,000円×一式×税=1,155,000円 照明・換気扇センサー化(12カ所) 502,000円×一式×税= 552,200円 備品購入費 264,200円 (工場扇、加湿器、加湿空気清浄機) | 2,229,900 | (R2) 1,074,900 (R3) 1,155,000 | R2.10 | R3.5 | 教室の網戸設置やトイレ手洗い場の自動水洗、照明や換気扇のセンサー化を行うことで、小学校における感染症拡大防止につながった。 | 教育総務課 |
| 45 | 中学校管理総務費 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中学校の教室に網戸の設置とトイレ手洗の自動水栓と照明・換気扇のセンサー化を行う。 | 工事請負費 トイレ手洗の自動水栓(12カ所) 806,000円×一式×税=886,600円 委託料 網戸設置(6カ所) 63,000円×一式×税= 69,300円 | 955,900 | (R2) 69,300 (R3) 886,600 | R2.10 | R3.5 | 教室の網戸設置やトイレ手洗い場の自動水洗、照明や換気扇のセンサー化を行うことで、中学校における感染症拡大防止につながった。 | 教育総務課 |
| 46 | 新型コロナウイルス感染症対策図書消毒機整備事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から小・中学校図書室及び町立図書館において返却された蔵書の消毒作業を円滑に行うため、図書専用消毒機を整備する。 | 備品購入費(図書消毒機) 小・中学校図書室 970,000円×2台×税=2,134,000円 町立図書館 1,010,000円×1台×税=1,111,000円 | 3,245,000 | 3,245,000 | R2.9 | R3.2 | 町内図書室や図書館に図書専用消毒機を整備することで、巣ごもりにより利用の増加が見込まれる図書を効率的かつ安全に利用できるようになり、2つの側面から感染症の拡大防止につながった。 | 教育総務課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-------------------------------------|---|---|-----------|-----------|-------|------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 47 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策町外学生等支援金 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町外に在住する学生（保護者は町内）に対し支援金を支給し、生活の継続を支援する。 | 補助金 16人×60,000円=960,000円 | 960,000 | 960,000 | R2.10 | R3.3 | 町外在住の学生の子どもがいる世帯へ独自の給付金を支給することで、新型コロナウイルスによる様々な経済的負担を軽減することができた。 | 教育総務課 |
| 48 | 新型コロナウイルス感染症対策廃棄物収集対策事業 | 不特定多数の町民と接する廃棄物収集作業員の感染予防対策を行う。 | 消耗品一式 395,350円 (マスク32箱、抗菌作業服6着、空調服8着、ゴミ散乱防止ネット5個、消毒機材等) | 395,350 | 395,350 | R2.8 | R3.1 | 廃棄物収集作業員の感染予防対策を徹底することで、作業員だけでなく作業員と接する多くの町民の感染症感染予防にもつながった。 | 町民課 |
| 49 | 新型コロナウイルス感染症対策公共交通利用促進対策事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用の停滞している公共交通機関の利用促進を図るため、土曜日・日曜日・祝日利用限定のバス乗車券の助成事業を行う。 | スーパーワンコインバス事業補助金 504,400円(宮崎交通(株)) | 504,400 | 504,400 | R2.10 | R3.1 | 感染症の影響で打撃を受けている交通機関の利用支援を行うことで、町民の公共交通機関の利用促進につながり、事業継続の支援を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 50 | 学校臨時休業対策費補助金(学校給食費等返還事業) | 臨時休校した小・中学校の学校給食食材費を学校給食会を通じ事業者へ返還する。 | 補助金 249,088円(宮崎県学校給食会) | 249,088 | 63,088 | R2.6 | R3.3 | 休校により提供されなかった給食の食材費を事業者へ返還したことで、事業者の経営を支え、事業継続の一助となった。 | 教育総務課 |
| 51 | 新型コロナウイルス感染症予防対策申告相談e-TAX連携システム導入事業 | 新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、申告システムとe-TAXを連携させ、行政のIT化を推進し、紙ベースによるやり取りを極力減少させる。 | システム導入委託料 1,260,000円×一式×税=1,386,000円 サービス利用料(3か月分) 33,000円 | 1,419,000 | 1,419,000 | R2.10 | R3.3 | 申告に関する業務をシステムと連携させ、紙ではなくデータによるやり取りを行うことで、職員と町民との接触機会を軽減し、感染症拡大防止につながった。 | 町民課 |
| 52 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策再生産支援事業(林業関係者) | 新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けている林業事業者の事業継続支援を行う。 | 事業継続補助金 40,000円×15事業所×5か月=3,000,000円 20,000円×11事業所×5か月=1,100,000円 | 4,100,000 | 4,100,000 | R2.10 | R3.3 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた林業事業者へ持続化給付金を支給することにより、事業者の事業継続支援を行うことができた。 | 農林振興課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-----------------------------|--|--|------------|-----------------|-------|------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 53 | 新型コロナウイルス感染症対策高齢者外出支援事業 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現在1台で運行している高齢者外出支援車を2台に増輛し、三密を回避する。 | 備品購入費 軽自動車1台 1,436,730円(諸費用込み) | 1,436,730 | 1,436,730 | R2.10 | R3.3 | 高齢者外出支援事業にて使用している公用車を2台に拡充することで、三密を回避し、感染拡大防止を図ることができた。 | 福祉保健課 |
| 54 | 新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設改修事業 | アフターコロナを見据え、指定管理者の運営する町有宿泊施設の客室の改修。これまで共用であったトイレ・洗面・バスを各個室に設置し、和室から洋室に改修する。また、共用スペースの独立化と洋室化による感染対策、更にスポーツキャンプ宿泊施設としての利用促進を図る。 | 設計管理費 3,850,000円 工事費本体 53,460,000円 備品購入費 4,690,070円 (客室用のカーテン、ベッド等) | 62,000,070 | (R3) 62,000,070 | R2.10 | R4.1 | 町有宿泊施設の客室を大幅に改修し、感染症対策を行ったことで利用者の感染対策や利用の促進につながった。 | 総合政策課 |
| 55 | 新型コロナウイルス感染症対策Jリーグキャンプ支援事業 | 本町でキャンプを行うJリーグチームに対し宿泊費の一部を支援し、引き続き利用していただくことで、スポーツランド綾の推進及び地域経済の活性化を図る。 | 補助金 3チーム×2,000,000円=6,000,000円 1チーム×1,680,000円=1,680,000円 | 7,680,000 | 3,840,000 | R3.1 | R3.3 | Jリーグチームのキャンプ利用を支援したことで、合計4チームからキャンプ地として選ばれ、地域経済の活性化やスポーツランド綾の推進を図ることができた。 | 総合政策課 |
| 56 | 新型コロナウイルス感染症対策スポーツ合宿等受入支援事業 | スポーツをはじめ数多くの合宿が中止を余儀なくされ、本町の宿泊業はもとより町内の商店街も大きな影響を受けていることから、スポーツ等合宿受入と継続を支援し、宿泊業等産業の活性化を図る。 | 補助金 2,000円/泊×延1,006泊=2,012,000円 | 2,012,000 | 2,012,000 | R2.11 | R3.3 | 町内で行われる合宿への宿泊費支援をすることで、合宿地として綾町を選ぶ学校、団体が増加し、宿泊業の活性化ならびに綾町の交流人口の増加につながった。 | 総合政策課 |
| 57 | 医療・高齢者施設等に対する感染症対策用品支給 | 医療・高齢者施設等に対して、感染症対策用品を支給する。 | 消耗品一式 1,437,843円 (マスク435箱、アルコール94本、医療用手袋314箱、ガウン93セット、フェイスシールド220枚) | 1,437,843 | 1,437,843 | R3.1 | R3.3 | 重症化リスクの高いとされる方々が入所している医療施設や高齢者施設へ感染症対策用品を支給し、感染症による被害の抑制を図ることができた。 | 福祉保健課 |
| 58 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策学生等支援金 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町内に在住する学生に対し支援金を支給し、生活の継続を支援する。 | 補助金 19人×20,000円=380,000円 | 380,000 | 380,000 | R3.1 | R3.3 | 町内在住の学生へ支援金を支給することで、新型コロナウイルスによる様々な経済的負担を軽減することができた。 | 教育総務課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|------------------------------|---|---|------------|------------------------------|-------|------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 59 | マイナンバー事業 | 役場窓口での町民の滞在時間を短縮することで感染予防対策を行う。 | 備品購入費 プリントシステム 620,000円×1台×税=682,000円 | 682,000 | 682,000 | R3.2 | R3.3 | プリントシステムを導入したことで窓口での手続きがスムーズになり、町民の庁舎滞在時間が短縮され、感染症拡大防止につながった。 | 町民課 |
| 60 | 感染症対策のためのマスク等購入支援事業 | 新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波における慢性的なマスク不足を想定し、町立小・中学校における集団感染のリスクを避けるためのマスクを備蓄する。 | 消耗品費 966,174円(感染防止対策資材) | 1,945,920 | (R2) 966,174 (R3) 979,746 | R2.10 | R4.3 | 入手困難となっているマスクを学校で備蓄し生徒全員に装着させることにより、飛沫による感染症拡大防止を図ることができた。 | 教育総務課 |
| 61 | 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、町立小・中学校におけるサーキュレーター設置、消毒液等の備蓄を行う。 | 消耗品一式 2,500,000円 (消毒液100缶、体温計50個、使い捨て手袋140箱、サーキュレーター30台、大型扇風機10台) | 492,979 | 492,979 | R2.10 | R3.3 | 町内小・中学校におけるサーキュレーター設置や消毒液、体温計などの備蓄を行うことで、小・中学校における感染症拡大防止を図ることができた。 | 教育総務課 |
| 62 | GIGAスクール構想に向けた学校からの遠隔学習の強化事業 | 臨時休業等の緊急時に学校と家庭との通信を円滑にするため、カメラやマイクなどの整備を行う。 | 備品購入費 61,604円 (WEBカメラ2台、マイク・スピーカーフォン2台) | 61,604 | 61,604 | R2.10 | R3.3 | 学校で使用するWEBカメラやマイクを整備することで、臨時休業等の緊急時などに利用する生徒と学校との通信環境が整った。 | 教育総務課 |
| 63 | 新型コロナウイルス感染症緊急対策時短要請協力金 | 宮崎県独自の緊急事態宣言に伴い、営業時間短縮要請に応じる飲食店等に対し、協力金を支給する。 | 時短要請協力金 30件×30日間×40,000円=36,000,000円 3件×28日間×40,000円= 3,360,000円 1件×16日間×40,000円= 640,000円 | 40,000,000 | 4,000,000 | R3.1 | R3.3 | 県独自の緊急事態宣言を遵守した事業所に対し協力金を支給することで、感染症拡大防止を図りながら事業所の経営を支援することができた。 | 総合政策課 |
| 64 | 小田爪多目的広場整備 | 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、町有の小田爪多目的広場トイレの手洗自動水栓と照明センサー化を行う。 | 工事請負費(手洗場自動水栓、照明センサー化) 753,000円×一式×税=828,300円 | 828,300 | 828,300 | R3.1 | R3.3 | 公共施設のトイレにセンサー付き自動水栓装置や自動洗浄設備を整備することで接触機会を減らし、感染症拡大防止を図ることができた。 | 総合政策課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証(宮崎県綾町)

令和5年2月28日現在

| No | 事業名 | 事業概要 | 事業実績 | 総事業費(円) | | 事業始期 | 事業終期 | 事業効果 | 所管課 |
|----|-------------|---|--|-------------|-----------------|------|------|---|-------|
| | | | | | うち、交付金充当 | | | | |
| 65 | 綾町応援消費活性化事業 | 県独自の緊急事態宣言が出され、町内事業者は大きな打撃を受けたことから、応援消費を促すことを目的として、全町民に対して商品券を配布する。 | 印刷製本費 168,000円×一式×税=184,800円 郵送料 620,295円 事務委託費 300,000円 商品券換金 500円/枚×34,860枚=17,430,000円 | 18,535,095 | (R3) 18,535,095 | R3.2 | R3.8 | 新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ個人消費を促すことができ、町内消費活動の活性化および町内事業所の経営継続につながった。 | 総合政策課 |
| 合計 | | | | 384,068,372 | 311,086,071 | | | | |